

若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム(ITP)
バイオインフォマティクスとシステムズバイオロジーの国際連携教育研究プログラム
ワークショップ参加レポート

Name: 重水 大智

Title: IBSB2009 における参加報告

Workshop report :

私は、2009年7月27-29日にバイオインフォマティクスの国際交流の一環として開催された、第9回バイオインフォマティクスおよびシステムズバイオロジー国際ワークショップ2009 (IBSB2009)に参加させて頂きました。このワークショップは、2001年から毎年、日本とアメリカとドイツの3ヶ国合同で行われ、今回はアメリカのボストンがその開催地でした。開催期間は3日間と非常に短い期間ではありましたが、口頭発表、ポスター発表が綿密なスケジュールで組み立てられており、大変濃密で有意義な3日間でした。私も“Analysis of chemical modification patterns extracted from KEGG DRUG structure maps”という演題で口頭発表を行ってきましたが、非常にディスカッションが活発で、発表に対する数多くの貴重なご指導やご意見を頂きました。また、今後この研究をどのように進めていけばいいかの方針を定めるうえで大変有意義なディスカッションもできました。発表以外においても、ポスター発表で私と近い研究がいくつかあり、大変興味深いものばかりでした。

今回のワークショップは、口頭発表、ポスター発表も活発に行われていましたが、それ以外の、他の国の研究者たちと交流する機会が多いワークショップであったと感じました。3日間とも発表が終わると、ダックボートツアー、ボストンハーバークルーズ、バーベキューといった親睦を深めるための催しがあり、研究発表とそれ以外の国際交流のメリハリがはっきりとした大変充実したワークショップでした。特に、他の研究者たちの日頃の研生活や研究に対する姿勢等を話す機会があり、日頃話さないようなことまで話すことができ、今後の自分の研生活を送るうえで大変プラスになる貴重な経験ができたと感じました。

最後に、このような大変貴重な機会を与えて下さった先生方に心から感謝致します。